

地域包括ケア病床を知っていますか？

在宅での療養に不安があり、もう少しの入院治療で在宅復帰できる患者の方、施設への転院がすぐにできない患者の方の為に、安心して退院できるよう支援する仕組みの事です。



■ 武蔵野市にある地域包括ケア病床

- * 武蔵境病院…………… 21床
- * 吉祥寺南病院…………… 21床
- * 吉方病院…………… 31床

地域包括ケア病床とは…

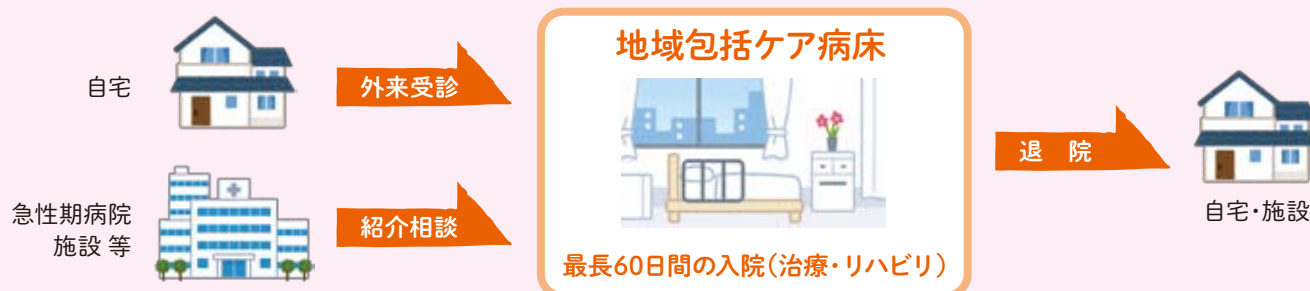
- ・ 急性期治療を終了し、症状が改善した方で直ぐに在宅や施設へ退院するには不安のある方に対し、在宅復帰に向けて医療管理・診療・看護・リハビリテーションを行うことを目的とした病床です。
- ・ 在宅あるいは介護施設に復帰予定の方であれば対象となります。

<以下の様な時に利用できます>

- ① 急性期治療が終了し、病状が安定・軽快して「在宅復帰」へ向けた間の入院
- ② 身体状況変化に伴う「自宅環境が整うまで」の間の入院
- ③ 在宅復帰に向け「もう少しリハビリ」がしたいとき
- ④ 慣れない医療行為やおむつ交換など「介護の練習」がしたいとき
- ⑤ 在宅で療養中に「介護者の休養」のための一時入院



利用のイメージ



入院期間・入院費について

入院期間は、状態により医師が判断します。最長で60日となります。

1日あたりの入院費は、原則として定額です。リハビリテーション、投薬、注射、処置、検査、画像診断などのほとんどの費用が含まれています。

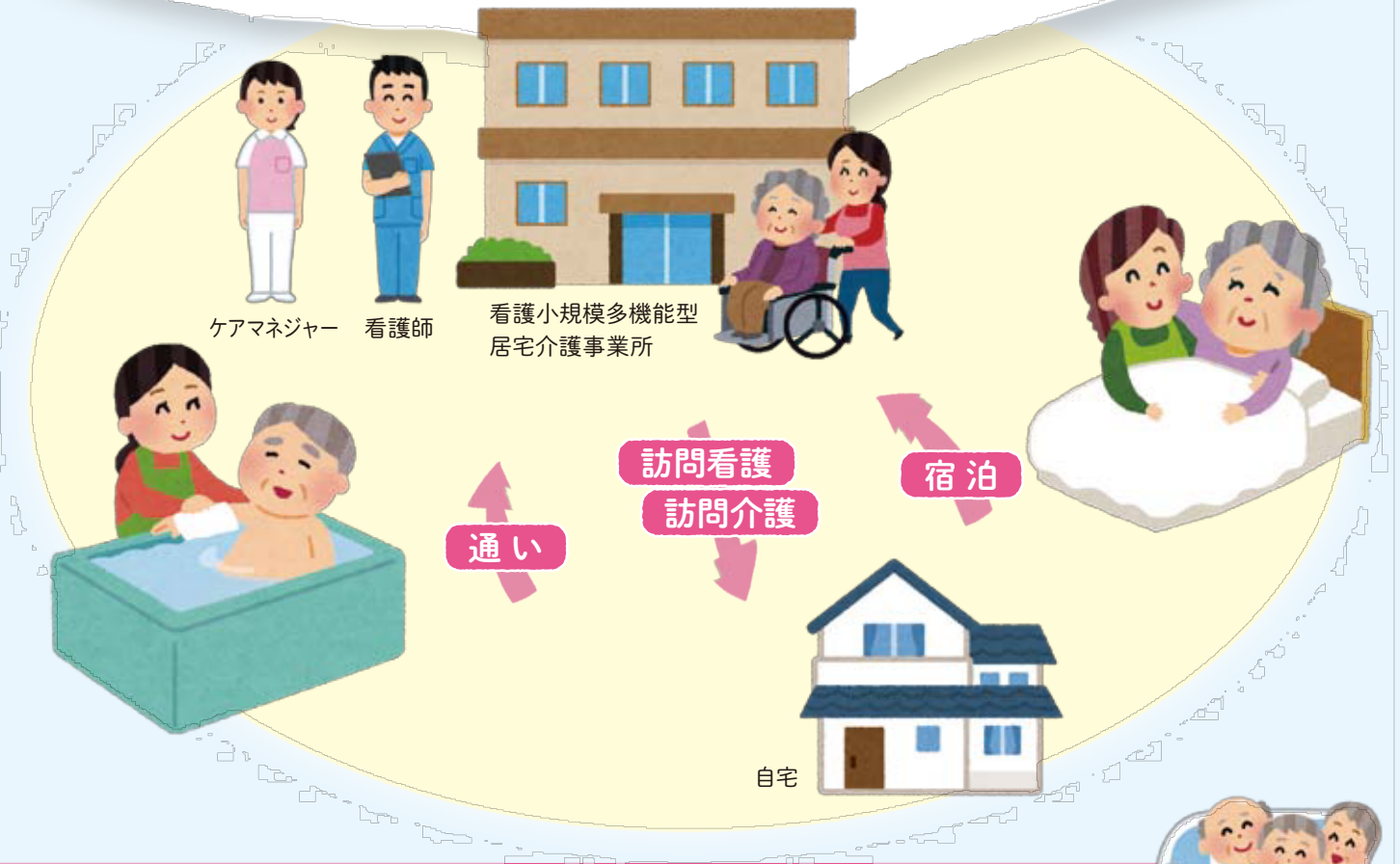


【正誤表】在宅療養パンフレット「住み慣れた地域で暮らし続けるために」(平成30年3月 第2版発行)

- ◎P4:水口病院は閉院しました。 ◎P5:「看護小規模多機能型居宅介護」と「地域包括ケア病床」が入ります。
- ◎P8:「開前」は「関前」が正しい表記です。

看護小規模多機能型居宅介護を知っていますか？

要介護者の方、医療ニーズの高い方、末期がんなどで終末期を迎えた方へ
365日切れ目のないチームケアで支援する介護と看護の一体的なサービスのことです。



看護小規模多機能型居宅介護(かんとき)とは

ご自宅での暮らしを続けていただくため、「通い」「宿泊」「訪問介護」「訪問看護」サービスをご本人、ご家族の状態に合わせてご利用いただけます。専任のケアマネジャーが担当します。

■ 武蔵野市にある
看護小規模多機能型居宅介護事業所
* ナースケアたんぼぼの家

事例1

97歳の女性。独居。
自宅の庭で転倒したことをきっかけに利用開始。他市に住む娘が支援に来てくれるが、娘も就労しており毎日支援に来るのは難しい。訪問看護による健康チェック、訪問介護に生活援助を依頼。
さらに転倒予防のために、通いを週2回して生活リハビリを行った。娘が来られない時などに「泊まり」を利用。すべてのサービスを同じ事業所が対応することで本人も混乱なく安心して自宅で生活をしている。

事例2

胃ろうがあり、吸引も必要な90歳の男性。高齢者世帯。介護をしている妻も高齢のため、介護や看護が大変になってきたため利用開始。いよいよターミナル期となったが「家で過ごしたい」と本人が希望。
妻も本人の希望を叶えたいと、まずは泊まりを利用し体調を整えることになった。訪問看護も訪問介護も泊まりも馴染みの職員のため、本人も妻も安心して在宅での療養生活を過ごすことができた。最期の前日、本人と妻がお互いの手を握り見つめ合う姿が印象的だった。